



北里美容医学
Kitasato Cosmetology Laboratory

形成外科 Plastic Surgery
美容外科 Aesthetic Surgery
美容皮膚科 Aesthetic Dermatology

北里美容医学部門 開設記念

Special Talk Session

美と人の幸せを 医学の力で支える

Art × Education

Art × Evidence

山先生の間でそこが議論になりましたよね(笑)。ぜひ私から先生に伺いたいことがあるんです。
※事故や手術などにより生じた、または先天的な体表の変形や欠損を改善し、QOL(生活の質)の向上を目指す外科系専門領域

美が人の心に与える 喜びを追求したい

美容は人々の幸せに
貢献することができる

北里大学北里研究所病院 病院長

渡邊 昌彦

わたなべ・まさひこ / 慶應義塾大学医学部卒業。米国ワシントン大学、慶應義塾大学講師、北里大学教授を経て現職。日本内視鏡外科学会名誉理事長、日本外科学会名誉会員、日本消化器外科学会特別会員、医学博士。



が変わることで気持ちが前向きになり、その本来の良いものが出せるようになるなら、そして医学的に信頼できる方法があるなら、ウエルビーイングの観点からも選択肢のひとつかと思えます。
阿川 うーむ。って批判的なこと言っておきながら、将来やっばり「古山先生お願い」なんて駆け込むかもしれないけど(笑)。ただ、人間というのは全体で一個の存在ですので、顔だけがきれいなれば幸せとは限らないでしよ？先生方にはぜひ、患者全体を見たらうで医療を提供していただきたいんです。
渡邊 そのためには、美容だけに偏ることなく、総合的な視点で患者さんの健康と美しさを考えていくことが大切です。高齢になり人工関節や人工臓器に頼るようになれば、それはもはやサイボーグじゃないかという人もいます。しかし人工関節であって

その人らしい前向きな
生き方を応援したい

自由が丘クリニック 理事長

古山 登隆

ふるやま・のぶたか / 北里大学医学部卒業。同医学部形成外科講師を経て、1995年自由が丘クリニックを開設。横浜市立大学医学部非常勤講師、千葉大学医学部形成外科非常勤講師。日本形成外科学会認定形成外科専門医、医学博士。



も最後まで自分の足で歩けることが幸せだという人もいます。そこに正解はありませんが、誰もがその人らしい生き方を選べるよう、幅広い選択肢を提示することが私たちの務めです。たとえ体のなが治っても、表面に残った手術の傷をいつまでも気に病む人もいます。「見た目」を改善するということは、医学を用いて人の幸せに貢献するひとつの方法であると信じています。
古山 命を救うという目的から始まった医学は、次に機能の改善を目指し、今では見た目を考える段階となりました。そして、これからの美容医療はウエルビーイングに貢献するということが、一つの大きなテーマだと考えています。高齢化社会に入り、長くなった人生を如何に心身ともに健康で豊かに、若々しく生きるか。それを叶える美容医療を目指していきたいと思っています。



「容姿の自信」 影響の大きさ実感

阿川 私は渡邊先生をずいぶん前から存じ上げていますが、この北里美容医学部門の設立がずっと夢だったというのを聞いて意外な気がしました。まず初めに、設立の経緯を教えてください。
渡邊 北里大学は、日本で最も早い時期から「形成外科・美容外科学教室」を設け、1999年には現在と同名の部門を北里研究所病院に開設していました。しかしその後、人的資源不足などから有名無実化していたので、このたび古山先生の力を借りて新たなスタートを切ったというわけです。
古山 三十数年前に美容外科が発足した時、僕もその立ち上げメンバーの1人でした。ただ美容というのは医学の中ではあくまで傍流ですので、正直に言えばあまりやりたくはありません

部分だけを見ても
人は幸せにはなれない

作家・エッセイスト

阿川 佐和子

慶應義塾大学文学部卒業。報道番組キャスターを務めたのちエッセイスト、小説家に。講談社エッセイ賞、坪田謙治文学賞など受賞多数。また「ピータけし」のTVタックル(テレビ朝日)ほかテレビやラジオでも活躍中。



阿川 そのやりたくなかったことが、結果的に一生の仕事になった理由は何ですか？
古山 ひとつには、「望む通りの外見を手に入れる」「容姿に自信が持てる」ということが、人の心に与える影響の大きさを実感したこと。もうひとつは、この30年の間に美容に対する科学的な説明が進み、身体の加齢変化に対する医療的アプローチが大きく進歩してきたことです。
患者と医師双方への
教育・情報発信拠点に
渡邊 一般に美容医学というと華美なイメージがあり、多くの方はあまり医療らしくないと思われるかもしれませんが。しかしそのベースにあるのは形成外科の技術であり、医師には解剖学や物理学の確かな理解が求められます。新しくスタートした北里美容医学部門は、患者さんに寄り添う医療を提供することはもちろん、美容医学に関する正しい情報の発信や、この分野の将来を担う人材の教育にも努めています。
阿川 大学病院と民間のクリニックの提携は、あまりないことなんですか？
古山 そうですね。これまでは人的・時間的な制約から、やりたいと思ってもなかなかできずにいたことが双方にあります。今回の提携により、それぞれの得意分野を生かしながら人材教育・情報の発信・コンテンツの充実という3つの方向で美容医学の発展に貢献していきたいと考えています。たとえば基本的な美しさの基準のようなものを学問的に確立することも、コンテンツのひとつだと思います。
阿川 この鼎談が始まる前、私と古

身体も心も健康に美しく

北里柴三郎博士が設立した結核専門病院を前身とする基幹病院、北里大学北里研究所病院と、民間クリニックとして30年近い歴史を誇る自由が丘クリニックの連携で生まれた北里美容医学部門、人生100年時代にそれが果たす役割について、美容医学に対して以前から疑問を持っていたという阿川佐和子さんが聞いた。

KJc 北里美容医学部門
Kitasato Cosmetology Laboratory



北里美容医学部門 〒108-8642 東京都港区白金5-9-1 北里研究所院内 休診日/日曜日、祝日、第4土曜日、年末年始

予約センター(直通) TEL. 03-5791-6345 受付時間: 月~金曜日 10:00~12:00 / 13:30~16:00 ※祝日、年末年始を除く



Art × Science